



4日 南幌町農協前で演説する紙智子参議

紙智子参議が南空知の農業地域で演説 農民後援会野呂事務局長も

紙智子参議は、4日南空知入りした政党カーに乗り、南幌町、長沼町、栗山町などの農業地域で訴えました。この日は、農民後援会の野呂事務局長も「共産党が勝って、農民の願いを実現しよう」と応援演説に立ちました。南幌農協前には職員10数人を含め30人以上の方が紙智子参議の訴えを聞きました。紙智子参議は米価暴落問題を国会で取り上げたことについてふれ、「どんな国だって生産費を割るくらい下がったら対策をとっているのに、日本政府は米価が下がったのを農協のせいにする。とんでもないことです」と告発し、価格補償と所得補償をしっかりとやって若い人たちが意欲をもてるように農政を転換します」と訴え党への支持を呼びかけました。



5日付「日本農業新聞」に掲載した日本共産党の広告

「支持してきたところがダメになった」と農民に大きな変化——野呂農民後援会事務局長がマイ名簿で訴え

農民後援会の野呂事務局長が農民の方々に政党カーから党への支持を訴えるとともに、マイ名簿でも電話対話しています。野呂事務局長は、「これまで電話をかけると『決まっています』や、ガチャンときられることが多かったけど、今回はちがいます。確実に変わってきたと実感します。話を聞いてくれ『いままで入れてきたところがダメになり、入れるところがなくなった』と言い、対話になります」野呂事務局長は「あなたが“実現してほしい”と願っていることや考えが一番近いところは日本共産党ですよ」と言って党への支持を呼びかけています。

5日付「日本農業新聞」の日本共産党の広告を生かして、オール北海道でTPP反対とたたかってきたすべての人に支持を訴えよう

左の写真は、5日付「日本農業新聞」に掲載された日本共産党の広告です。多くの農民が読んで「日本農業新聞」の広告などを生かして対話をすすめましょう。また、紙智子参議は、道内の全農協に「しんぶん赤旗」号外・「農業つぶしストップ 日本共産党の躍進で農家・農村の声が生きる農政へ」を郵送しています。地域の農協を訪問し、要望や意見を聞くなど懇談しましょう。

車長報告から

○政党カー……引き続き、車のクラクション、手を振って声援してくれるなどの反応がある。旭川市役所前では10人以上の後援会員で700枚の赤旗号外を配布。岩見沢の弁士・山田市議の元職場同僚が「今度は比例で当選しそうだから共産党に入れる」と電話をもらったとのこと。
○はたやまカー……当別の元町議の農民が「自民党がこれ以上議席獲れば何するかわからん。共産党に伸びてもらいたい」と激励。北石狩農協の職員みんなに挨拶することができました。

比例が大激戦。燃えに燃え、攻めて、攻めて、攻めぬいて必ず議席獲得を！

「日本農業新聞」と「北海道新聞」に掲載する党の広告は「オール北海道」でたたかってきた北海道党と後援会への大きな援助です。「農業と食料、医療、地域経済をまもるためには日本共産党が大きくなることです」と党への支持を広げに広げ、攻めて、せめて、攻めぬいて道民の願い実現する北海道の党議席を獲得しよう。

「比例は日本共産党とお書きください。候補者名は無効です」を徹底しよう。